

カーボンニュートラルの最前線がここにある！

環境・エネルギービジネス研究会

2024年度 登録者募集中！

全6回シリーズ
スケジュールは裏面に記載

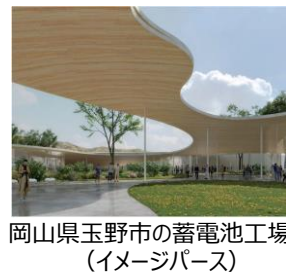
概要

世界の脱炭素動向をはじめ、CO₂の回収・利活用、蓄電池など、注目分野の最前線をご紹介しますほか、自然冷媒を活用した産業用冷凍機を製造する工場見学も実施します。
★講師を交えた交流会も実施！ ネットワーキングとしてご活用ください。

ここが、オススメ！

1) パワーエックスの創設者、伊藤正裕氏が登壇

伊藤正裕氏略歴：1983年東京都生まれ。大阪インターナショナルスクール在学中に、17歳でウェブ3D技術のソリューションを提供する会社「ヤッパ」を設立。2014年、ZOZOの傘下に入り、足の3Dサイズが計測できる「ZOZOMAT」や3D計測用ボディースーツ「ZOZOSUIT」等の開発責任者として活躍。2021年にパワーエックス創業。



2) 工場見学を実施（日本熱源システム 滋賀工場）

CO₂やアンモニアなど自然冷媒を活用した産業用冷凍機を製造。環境負荷が少なく、省エネ効果も期待できる自然冷媒だが、その取扱いは難しく、高い技術力が要求されるという。

CO₂ CO₂冷媒冷凍機
「スーパーグリーン」



年会費

大商会員：60,000円（税込） 大商非会員：120,000円（税込）

※代理出席可能。大商への入会ご希望の方は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

詳細・申込

HPで詳細ご確認の上、お申し込みください。

右記QRコード、または「大商 環境・エネルギービジネス研究会」で検索



問い合わせ先

大阪商工会議所 産業部 産業・技術振興担当

☎ 06-6944-6300
✉ sangyo@osaka.cci.or.jp

5/31 カーボンニュートラルの最新動向 –世界の動きと日本の立ち位置–

「シリコンバレーに学ぶ、脱炭素イノベーション」

東北電力株式会社 アドバイザー 出馬 弘昭 氏

脱炭素イノベーションは、約20年前にシリコンバレーで始まり、世界に広まりました。カーボンニュートラルの分野で、世界の有望なスタートアップや、エネルギー大手などの先進事例を紹介するとともに、脱炭素技術開発競争における、日本の現在地と今後のゆくえについてお話しします。



6/25 持続可能性に資する技術の事業化 –資源循環、低炭素化、CCS・CCUS–

「日揮グループの持続可能性への取り組み」

日揮ホールディングス株式会社 常務執行役員TCO サステナビリティ協創ユニット部長 秋鹿 正敬 氏

1928年の創業以来、エネルギー関連プラントの建設を行ってきた日揮グループでは、地球の持続可能性に資する技術を事業化する取り組みを進めています。その中身について、資源循環、低炭素化、CCS・CCUSなど、いくつかのテーマを上げて説明します。



8/30 新事業開発×脱炭素 –サステナブル視点での新たな価値の創造–

「サステナブル発想に基づく関西ペイントの研究開発戦略について」

関西ペイント株式会社 研究開発部門R&D本部 本部長 檜原 篤尚 氏

従来のマネジメント視点ではなく、サステナブル視点で新たな価値を創出するマインドが求められる中、塗料の分野においても、今後は既存と新領域の両軸を適切に運営する必要があります。そうした点を踏まえた、当社の研究開発戦略についてお話しします。



9/19 電気を「ためる」「はこぶ」「つかう」 –自然エネルギーの爆発的な普及を目指す–

「未来を拓くイノベーション ～再生可能エネルギーの普及を実現する蓄電池の活用～」

株式会社パワーエックス 取締役兼代表執行役社長CEO 伊藤 正裕 氏

当社は、自然エネルギーの爆発的な普及を目指す企業です。蓄電池を中心とした製品の開発・製造のほか、再エネ等の電力供給及び電気運搬船なども展開しています。再エネの普及を加速させるための戦略と取り組みについて詳しく説明します。



12/6 環境分野のベンチャー企業事例

「海上ファームから、海上ビレッジへ ～海上建築N-ARKの大阪・関西万博への提案～」

株式会社N-ARK 代表取締役 田崎 有城 氏

温暖化で海面上昇が問題になる中、海上建築の可能性を探っています。海水農業技術とフローティング建築技術を組み合わせた「海上ファーム」から始まって、現在は「海上ビレッジ」へと構想を広げつつあります。こうした私たちの取り組みが、技術をベースにした新規事業を考えるヒントになればと思います。



1/28 工場見学；自然冷媒への取り組み

日本熱源システム株式会社 滋賀工場

当社は、産業用冷凍機のメーカーです。地球温暖化やオゾン層破壊に影響があるフロンに代わり、環境負荷の少ないCO2やアンモニアを使用した「自然冷媒製造機」の開発・製造に注力しています。メインの製造拠点である滋賀工場にて、カーボンニュートラルにおける脱フロンの有効性を説明し、製造現場をご覧ください。

